

## PRIMEQUEST における ServerView ESXi CIM Provider VMware vSphere 5

### インストールガイド

VMware vSphere 5.x (以後、VMware vSphere 5 と略します) をインストールしたサーバを監視する場合、ServerView ESXi CIM Provider を使用するか、またはリモートマネジメントコントローラを使用した、サーバ監視・管理を行うことができます。

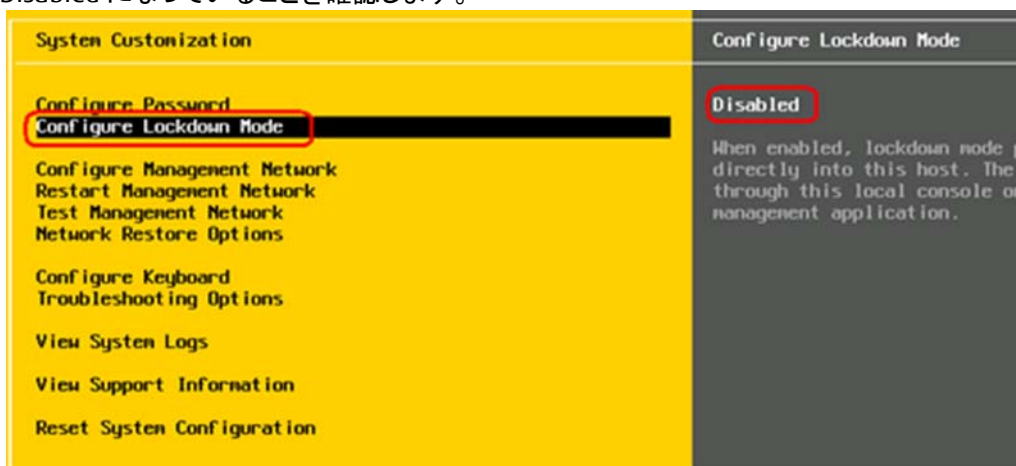
本書では、ServerView ESXi CIM Provider のインストール／アンインストール手順、ServerView Operations Manager(以降 SVOM と記載します)への登録手順、及び、留意事項を説明します。

#### 1. 事前準備

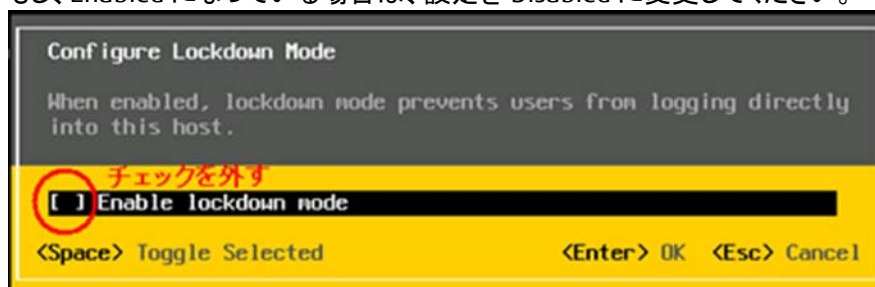
##### 1) ESXi サーバのロックダウンモードを無効にします。

以下は ESXi ホストで直接ロックダウンモードを無効にする手順です。

ESXi のトップ画面より F2 キーを押して「Customize System」画面を呼び出し、Configure Lockdown Mode が Disabled になっていることを確認します。



もし、Enabled になっている場合は、設定を Disabled に変更してください。



##### 2) 作業環境を準備します。

ServerView ESXi CIM Provider のインストールは、「esxcli」コマンドを使用して行います。「esxcli」コマンドを使用するには、「VMware vSphere CLI」を導入する必要があります。

「VMware vSphere CLI」は、以下のソフトウェアに含まれています。

VMware vSphere ESXi 5.0 の場合:

「VMware vSphere 5.0 SDK for Perl」を以下のダウンロードサイトから入手します。

[http://downloads.vmware.com/d/info/datacenter\\_cloud\\_infrastructure/vmware\\_vsphere/5\\_0](http://downloads.vmware.com/d/info/datacenter_cloud_infrastructure/vmware_vsphere/5_0)

⇒「Drivers & Tools」⇒「Automation Tools and SDKs」⇒「VMware vSphere 5.0 SDK for Perl」

VMware vSphere ESXi 5.1 の場合:

「VMware vSphere SDK for Perl 5.1」を以下のダウンロードサイトから入手します。

[http://downloads.vmware.com/d/info/datacenter\\_cloud\\_infrastructure/vmware\\_vsphere/5\\_1](http://downloads.vmware.com/d/info/datacenter_cloud_infrastructure/vmware_vsphere/5_1)  
⇒「Drivers & Tools」⇒「Automation Tools and SDKs」⇒「VMware vSphere SDK for Perl 5.1」

VMware vSphere ESXi 5.5 の場合:

「vSphere SDK for Perl 5.5」を以下のダウンロードサイトから入手します。

[http://downloads.vmware.com/d/info/datacenter\\_cloud\\_infrastructure/vmware\\_vsphere/5\\_5](http://downloads.vmware.com/d/info/datacenter_cloud_infrastructure/vmware_vsphere/5_5)  
⇒「Drivers & Tools」⇒「Automation Tools and SDKs」⇒「vSphere SDK for Perl 5.5」

作業 PC(Windows)に 入手した「vSphere SDK for Perl」をインストールしてください。

## 2. インストール／アップデートインストール

- ① ServerView ESXi CIM Provider インストール zip ファイルを VMware vSphere 5 の任意のローカルディレクトリにコピーします。

ファイル名 : SVS-VMware-ESXixx-CIM-Provider-x.xx.xx.zip xx:対象の ESXi の版数

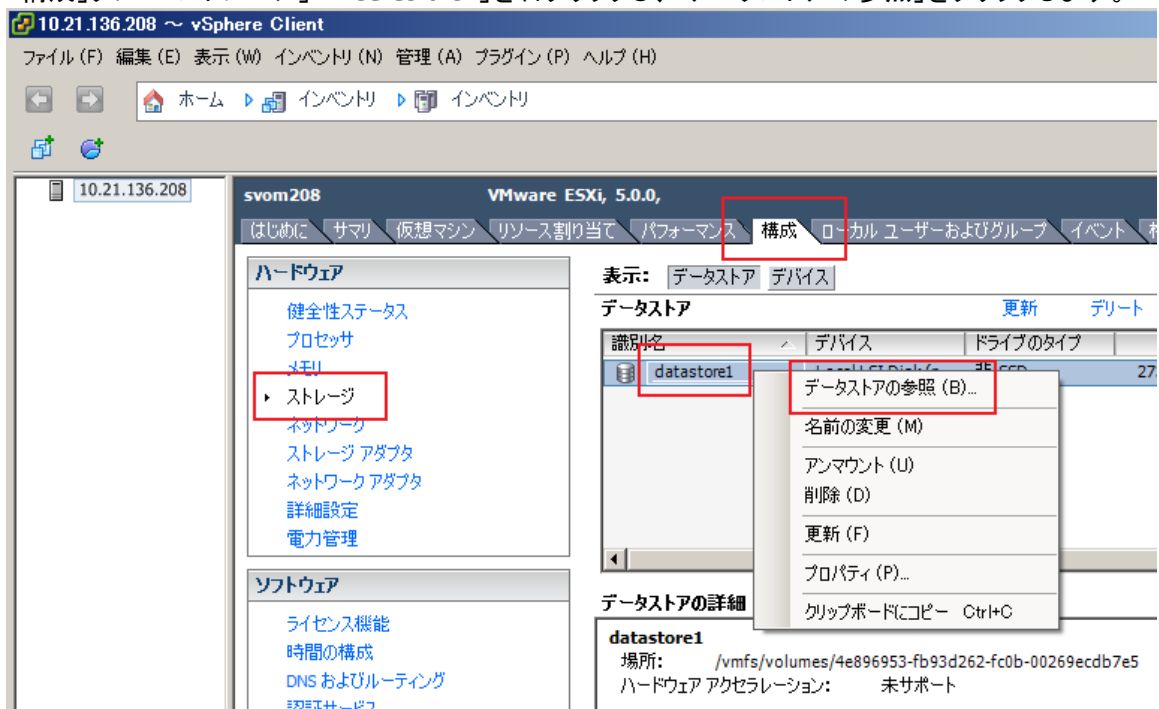
x.xx.xx: CIM Provider の版数

コピーは任意の方法で行なってください。

例) VMware vSphere Client を使用したファイルコピー方法

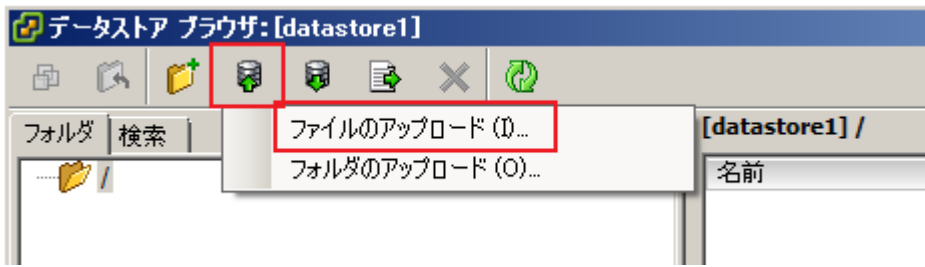
- 1) VMware vSphere Client を起動します。

「構成」タブ⇒「ストレージ」⇒「datastore1」を右クリックし、「データストアの参照」をクリックします。

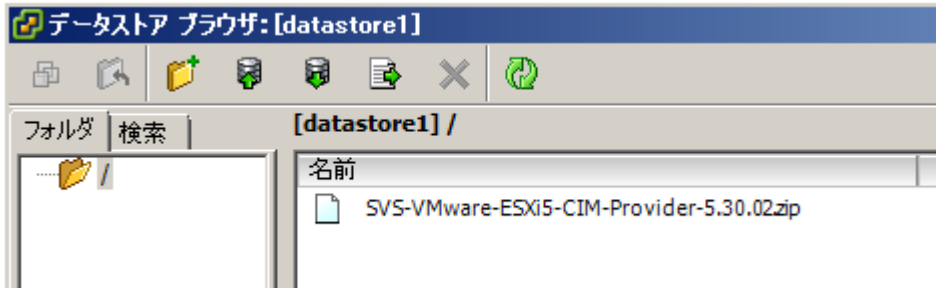


- 2) 「データストア ブラウザ」が起動します。

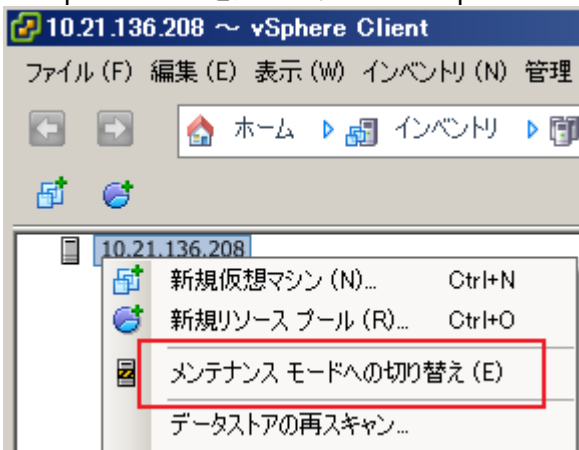
ファイルのアップロードアイコン⇒「ファイルのアップロード」をクリックし、ServerView ESXi CIM Provider インストール zip ファイルをアップロードします。



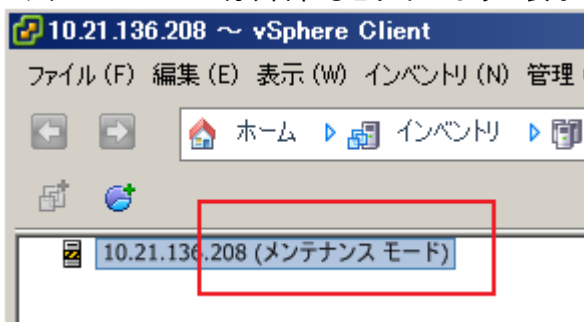
3) 以下のようにファイルがアップロードされます。



② VMware vSphere Client を用いて、VMware vSphere 5 へ接続し、メンテナンスモードに切り替えます。



メンテナンスモードに切り替わると以下のように表示されます。



③ ServerView ESXi CIM Provider のインストール／アップデートインストール

1) 「VMware vSphere CLI」のフォルダに移動します。

「スタート」メニューから、「VMware」⇒「VMware vSphere CLI」⇒「Command Prompt」を実行します。コマンドプロンプトが起動します。以下のコマンドで bin フォルダに移動します。

```
> cd bin
```

2) 以下のコマンドを実行し、ServerView ESXi CIM Provider のインストール状態を確認します。

```
> esxcli.exe --server <IP アドレス> --username <ユーザ名> --password <パスワード>
software vib list
```

以下は実行例と確認結果です。ServerView ESXi CIM Provider がインストールされている場合、「Name」項目が「svscimprovider」の行が表示されます。

ESXi サーバ IP アドレス : 192.168.1.10

ユーザ名 : user (ESXi に設定されている / vSphere Client にログインするときに使用するシステム管理者アカウント)

パスワード : pass (上記、ユーザ名のパスワード)

```
> esxcli.exe --server 192.168.1.10 --username user --password pass software vib list
```

Name	Version	Vendor	Acceptance Level	Install Date
svscimprovider	x.xx-xx	Fujitsu	PartnerSupported	yyyy-mm-dd
		:		
		:		

確認結果より、インストールするバージョンと同じ ServerView ESXi CIM Provider が既にインストールされている場合は、以下の手順は必要ありません。

3) 以下のコマンドを実行し、ServerView ESXi CIM Provider をインストールします。

新規インストールの場合は、3-1) のコマンドを実行してください。

アップデートインストールの場合は、3-2) のコマンドを実行してください。

#### 3-1) 新規インストール

```
> esxcli.exe --server <IP アドレス> --username <ユーザ名> --password <パスワード> software vib install -d <コピー先の Path>/<インストール zip>
```

以下は実行例です。

#### インストール対象例

コピー先の Path : 手順①の例でファイルをアップロードした場合は以下のとおり  
/vmfs/volumes/datastore1

インストール zip : SVS-VMware-ESXixx-CIM-Provider-x.xx.xx.zip

```
> esxcli.exe --server 192.168.1.10 --username user --password pass software vib install -d /vmfs/volumes/datastore1/SVS-VMware-ESXixx-CIM-Provider-x.xx.xx.zip
```

#### Installation Result

Message: The update completed successfully, but the system needs to be rebooted for the changes to be effective.

Reboot Required: true

VIBs Installed: Fujitsu\_bootbank\_svscimprovider\_x.xx-xx

VIBs Removed:

VIBs Skipped:

#### 3-2) アップデートインストール

```
> esxcli.exe --server <IP アドレス> --username <ユーザ名> --password <パスワード> software vib update -d <コピー先の Path>/<インストール zip>
```

以下は実行例です。

#### インストール対象例

コピー先の Path : 手順①の例でファイルをアップロードした場合は以下のとおり  
/vmfs/volumes/datastore1

インストール zip : SVS-VMware-ESXixx-CIM-Provider-x.xx.xx.zip

```
> esxcli.exe --server 192.168.1.10 --username user --password pass software vib
update -d /vmfs/volumes/datastore1/SVS-VMware-ESXixx-CIM-Provider-x.xx.xx.zip
```

#### Installation Result

Message: The update completed successfully, but the system needs to be rebooted for the changes to be effective.

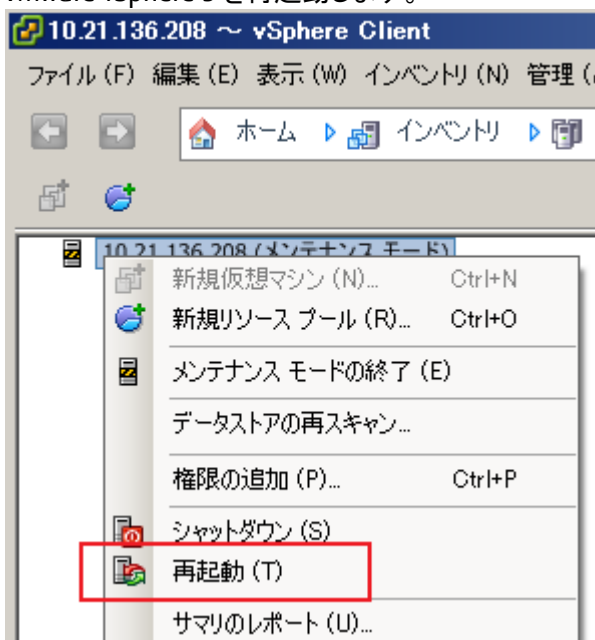
Reboot Required: true

VIBs Installed: Fujitsu\_bootbank\_svscimprovider\_x.xx-xx (新バージョン)

VIBs Removed: Fujitsu\_bootbank\_svscimprovider\_x.xx-xx (旧バージョン)

VIBs Skipped:

- 4) VMware vSphere 5 を再起動します。



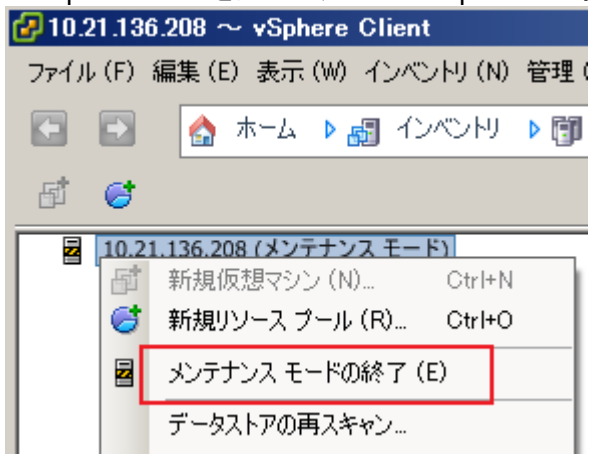
- 5) 再起動後、以下のコマンドにより、インストール状態を確認できます。

```
> esxcli.exe --server <IP アドレス> --username <ユーザ名> --password <パスワード>
software vib list
```

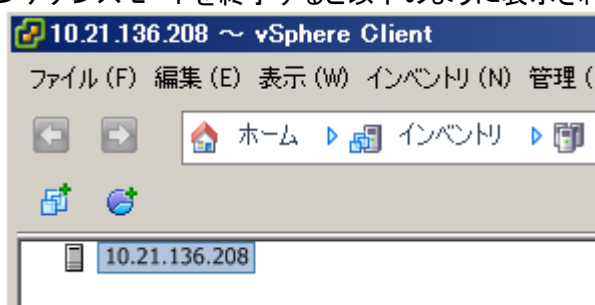
以下は実行例と確認結果です。

```
> esxcli.exe --server 192.168.1.10 --username user --password pass software vib list
Name          Version          Vendor  Acceptance Level  Install Date
-----
svscimprovider x.xx-xx          Fujitsu PartnerSupported  yyyy-mm-dd
:
:
```

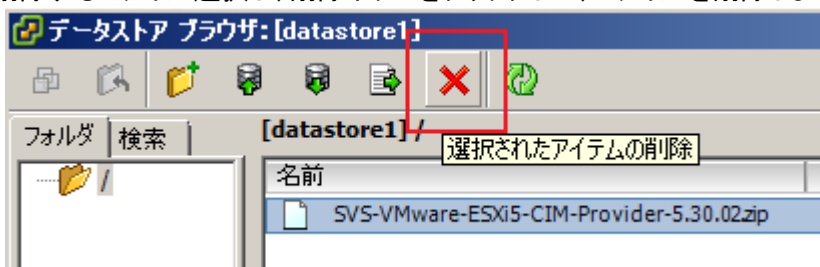
- ④ VMware vSphere Client を用いて、VMware vSphere 5 へ接続し、メンテナンスモードを終了します。



メンテナンスモードを終了すると以下のように表示されます。

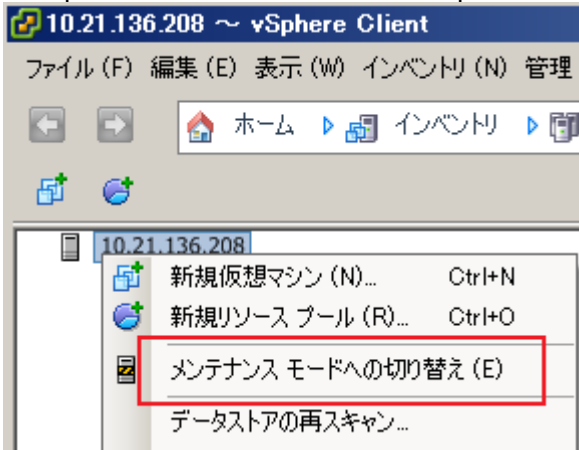


- ⑤ 手順①の例でファイルをアップロードした場合のファイルの削除方法
- 1) VMware vSphere Client を起動します。  
「構成」タブ⇒「ストレージ」⇒「datastore1」を右クリックし、「データストアの参照」をクリックします。
  - 2) 「データストア ブラウザ」が起動します。  
削除するファイル選択し、削除ボタンをクリックして、ファイルを削除します。

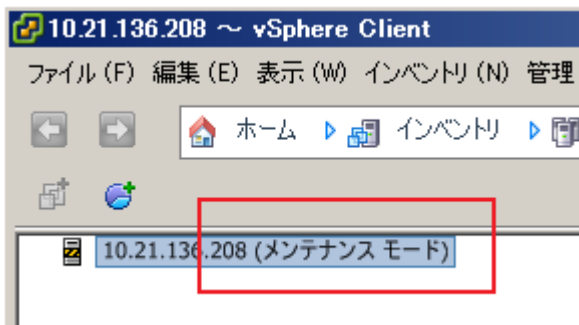


### 3. アンインストール

- ① VMware vSphere Client を用いて、VMware vSphere 5 へ接続し、メンテナンスモードに切り替えます。



メンテナンスモードに切り替わると以下のように表示されます。



- ② ServerView ESXi CIM Provider のアンインストール

- 1) 「VMware vSphere CLI」のフォルダに移動します。

「スタート」メニューから、「VMware」⇒「VMware vSphere CLI」⇒「Command Prompt」を実行します。コマンドプロンプトが起動します。以下のコマンドで bin フォルダに移動します。

```
> cd bin
```

- 2) 以下のコマンドにより、インストール状態を確認します。

```
> esxcli.exe --server <IP アドレス> --username <ユーザ名> --password <パスワード> software vib list
```

以下は実行例と確認結果です。

```
> esxcli.exe --server 192.168.1.10 --username user --password pass software vib list
Name                Version                Vendor  Acceptance Level  Install Date
-----
svscimprovider      x.xx-xx                Fujitsu PartnerSupported  yyyy-mm-dd
:
```

- 3) 以下のコマンドを実行し、ServerView ESXi CIM Provider をアンインストールします。

```
> esxcli.exe --server <IP アドレス> --username <ユーザ名> --password <パスワード> software vib remove -n svscimprovider
```

以下は実行例です。

```
> esxcli.exe --server 192.168.1.10 --username user --password pass software vib remove -n svscimprovider
```

#### Removal Result

Message: The update completed successfully, but the system needs to be rebooted for the changes to be effective.

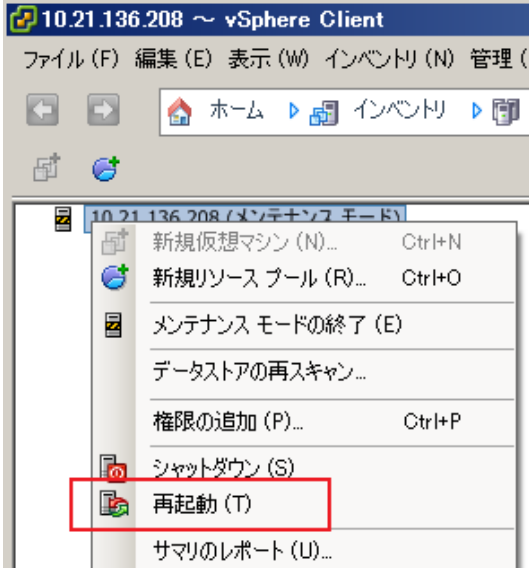
Reboot Required: true

VIBs Installed:

VIBs Removed: Fujitsu\_bootbank\_svscimprovider\_x.xx-xx

VIBs Skipped:

- 4) VMware vSphere 5 を再起動します。

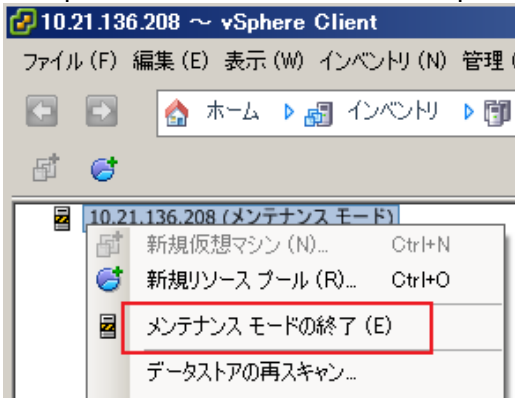


- 5) 再起動後、以下のコマンドにより、インストール状態を確認できます。

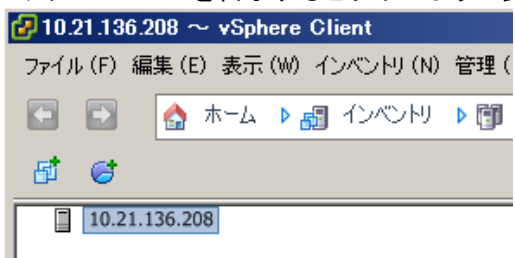
```
> esxcli.exe --server <IP アドレス> --username <ユーザ名> --password <パスワード>  
software vib list
```

2)の結果の「svscimprovider」の項目が削除されていることを確認します。

- ③ VMware vSphere Client を用いて、VMware vSphere 5 へ接続し、メンテナンスモードを終了します。



メンテナンスモードを終了すると以下のように表示されます。





更新履歴

版数	変更内容	日付
初版	新規作成	2012年6月26日
2版	<p>「1. インストール／アップデートインストール」に、VMware vSphere 5 のロックダウンモードを無効にする手順⑧を追加</p> <p>「4. 留意事項」に以下の記事を変更・追加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「③ Java Runtime Environment(JRE)について」を変更</li> <li>・「⑤ ソフトウェアウォッチドッグの使用について」を追加</li> </ul>	2015年5月18日
3版	<p>vSphere SDK for Perl ダウンロードページの修正</p> <p>CIM Provider ファイル名の修正</p> <p>「4. 留意事項」の以下の記事を追加・変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「② ESX/ESXi のアップグレードを行なう場合」を変更</li> <li>・「⑥ ServerView ESXi CIM Provider によるシステムシャットダウン機能について」を追加</li> <li>・「⑧ Plugins のリソース変更について」を追加</li> </ul>	2015年8月11日
4版	<p>サーバ監視手段としてリモートマネジメントコントローラを使用した監視があることを記載</p> <p>「4. 留意事項」の以下の記事を変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「⑧ Plugins のリソース変更について」</li> </ul>	2015年9月1日
5版	<p>「4. 留意事項」の以下の記事を変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「⑧ Plugins のリソース変更について」</li> </ul>	2015年11月24日
6版	<p>「3. SVOM への VMware vSphere 5 サーバの登録方法」の以下の記事を変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「②「ユーザ/パスワード」画面において、VMware vSphere ESXi サーバにアクセス可能なユーザ名/パスワードを設定し、ノードタイプを「VMware」に設定します。」</li> </ul>	2016年4月26日
7版	<p>「1. 事前準備」を追加</p> <p>「ESXi サーバのロックダウンモードを無効にします。」記事の位置を変更</p> <p>VMware vSphere CLI に関する記事の位置を変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「4. SVOM への VMware vSphere 5 サーバの登録方法」記事を修正</li> <li>・「留意事項」記事の削除（「VMware vSphere ESXi 5 におけるサーバ監視の留意事項」へ記事の集約）</li> <li>・その他語句の修正</li> </ul>	2017年1月11日
8版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「4. SVOM への VMware vSphere 5 サーバの登録方法」記事を削除（「VMware vSphere ESXi 5 におけるサーバ監視の留意事項」へ記事の集約）</li> </ul>	2017年1月31日

以上